

# ロータリー歴史探訪

## ( 日本編 )

田 中 毅 著

### まえがき

2680 地区パスト・ガバナー 田中 毅

本書は東京ロータリークラブの創立、すなわち日本ロータリーの創立から、RI 脱退と復帰までの日本ロータリーの歴史をまとめたものです。

個々のロータリークラブの歴史は別として、日本ロータリー全体の歩みについては、RI 脱退と戦災の影響で、現在残っている資料が極めて少ないのが実情です。

先般、米山記念館の資料室で、1971 年に発行された「日本ロータリー50 年史」を作成する際に原始資料として使用したと思われる、「日本ロータリー史」「日本ロータリー年表」という表題のついた謄写版刷りの古い文献を発見しましたので、その内容と信憑性が高いと思われる幾つかの資料や文献と史実の整合性を比較検討しながら、本書を書き上げました。

本書を通じて、日本の先達ロータリアンの、ロータリー運動に対する真摯な取り組みを振り返り、今後のロータリー・ライフに役立てていただけたら幸いです。

## 目 次

まえがき	1
日本ロータリー誕生	2
関東大震災	9
ロータリーの拡大	16
第70区時代	19
ポール・ハリス訪日	25
日満ロータリー連合会	30
RI 脱退	44
RI 復帰	51
参考文献	55

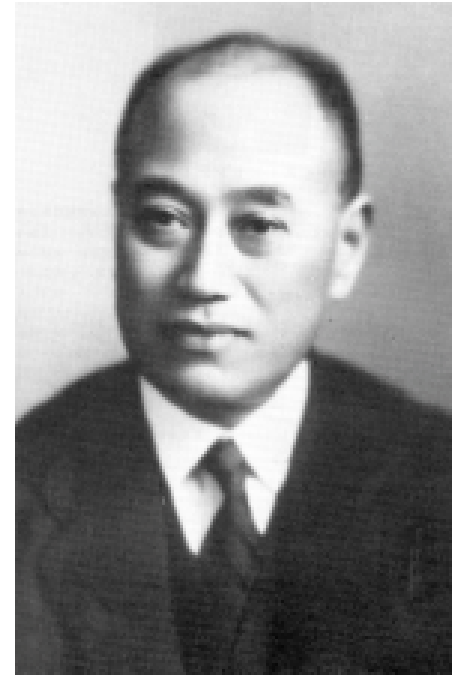
## 日本ロータリー誕生

日本にロータリー運動をもたらすきっかけを作ったのは福島喜三次 FUKUSHIMA Kisaji です。福島は一ツ橋大学を卒業後三井物産に入社して、明治 38 年に渡米し、ニューヨーク、オクラホマ、ヒューストンを経て、1912 年頃、ダラスの三井物産の現地法人 Southern Products 社の支配人に就任しました。既に同社のウィリアム William がダラス・クラブの会員になっていたため、福島は 1915 年ころ、アディショナル正会員として、ダラス・クラブに入会します。その後、ウィリアムが、第一次世界大戦の勃発によってドイツに引き上げたので、正会員として 1920 年まで、同クラブに在籍した最初の日本人ロータリアンです。なお、福島の帰国後に、「島」某が彼に代わって入会したという記録が残っています。

喜三次の読み方については、「きそじ」「きさじ」の両説がありますが、東京クラブの会員名簿には、英語で KISOJO と記載され



ていますので、「きそじ」が正しいものと思われます。



米山梅吉との出会いは、1918 年 10 月に目賀田種太郎男爵を団長とする政府派遣財政経済委員の一員として渡米した米山梅吉（三井銀行役員）が、1919 年の正月をダラスの福島宅で過ごした時です。この訪米に際して、米山は、「メキシコの 境まで咲く 枯野花」「テキサスの 野の東や 初日の出」等の句を詠んでいます。その際、案内役を務めた福島から、ロー

タリーに関する話を聞いて、関心を寄せると共に、アメリカの幾つかのクラブを視察した模様です。

1920 年 1 月に帰国した福島は、アルバート・アダムス Albert Adams 国際ロータリークラブ連合会会長から、年度内に日本にロータリークラブを設立してもらいたいという委任を受けて、米山梅吉と共に奔走しますが、年度末までに、創立に必要なチャーター・メンバーの数を集めることができず、期限切れとなってしまいました。

< 外国拡大委員会報告 >

長年にわたりテキサス州ダラス・ロータリークラブの会員であった福島氏に、日本の首都東京における組織化の権限が与えられた。同氏は、日本における最大企業の一つである三井と親密な関係を持っている。

In Japan authority to organize Rotary in Tokyo, its capital, has been given to Mr. Fukushima, who has been a member of Dallas, club for many years. He is intimately connected with the Mitsui Company, which is one of the largest business organization in Japan.

1920年アトランティックシティ国際大会報告

エスタス・スネデコル Estes Snedecor 連合会新会長は、米山と福島に再度委任状を送ると共に、パシフィック郵船横浜支店長ジョンストン W. L. Johnston にクラブ拡大の世話役に任命して拡大の協力を命じました。

1920年9月1日に設立準備会が開かれ、同年10月20日、チャーターメンバー24名が集まって、銀行クラブで創立総会が開催され、東京クラブが誕生しました。なお、RIから正式に認証されたのは1921年4月1日(登録番号852)です。

< 東京・日本の加盟について >

東京ロータリークラブ加盟に関するすべての業務は完了し、1921年4月1日を以って連合会の加盟クラブであることを宣言した。

この数ヶ月の間に極東を訪問したロータリアンからの報告によれば、このクラブは東京において影響力を及ぼす実業人によって構成され、会員の間にロータリーに対する情熱が育っているとのことである。

All work in connection with the affiliation of the Rotary Club of Tokyo has now been completed and club declared a member club of Association, as April 1st, 1921.

Report from Rotarians who have visited the Orient during the past few months, indicate that the club is composed of influential business men in Tokyo and that Rotary enthusiasm among the members is growing.

事務総長書簡 1921年3月25日

初代会長には米山梅吉、幹事には福島喜三次、理事に伊東米次郎、樺山愛輔、小野英次郎が就任しました。

< 東京ロータリークラブ・創立会員 >

氏名	勤務先	職業分類
深井 英五	日本銀行	銀行
藤野 正年	日本製麻	製麻
福島喜三次	三井物産	羊毛輸入
藤田 譲	明治生命	生命保険
藤原 俊雄	内外興業	自動車販売
堀越善重郎	内外商会	生糸輸出

星 一	内外製薬	製薬
井上敬次郎	東京市電気局	電車
磯村豊太郎	北海道炭鉱	石炭
伊東米治郎	日本郵船	航海
岩井重太郎	日興証券	信託
樺山 愛輔	日本製鋼	製鋼
梶原 仲吉	正金銀行	為替
岸 敬次郎	芝浦製作	電器製作
北島 亘	北島商会	株式仲買
倉地 誠夫	三越	百貨店
牧田 環	三井鉱山	鉱山
長野宇平治	建築技師	建築設計
小野英次郎	興業銀行	産業銀行
佐野 善作	商科大学	教育
清水 釘吉	清水組	建築
対馬健之助	東京日々	新聞
和田 豊治	富士紡	紡績
米山 梅吉	三井銀行	商業銀行

その後、1921年7月13日の理事会において、チャーターメンバーに次の4名が加えられて、東京クラブのチャーターメンバーは28名となりました。

宮岡恒次郎	弁護士	法律事務一般
-------	-----	--------

田原 豊	三菱製紙	製紙
朝吹 常吉	帝国生命保険	生命保険
相馬 半治	明治製糖	製糖



ジョンストン送別会記念写真

東京クラブ創立における、ジョンストンの果たした役割は極めて大きく、1921年、彼の帰国に際して名誉会員に推薦しています。

福島は僅か二回例会に出席しただけで、1921年3月に大阪へ転勤になり、大阪クラブの設立に関与した後、上海クラブ会員を経て、1932年10月、日本最初のパスト・サービス会員として東京クラブに再入会し、1939年には副会長を務めています。

創立当初の東京クラブの特徴は、前記の会員名簿からも判るよ

うに会員のほとんどが財界の大御所で占められていたことです。エリート中のエリートから選抜された大企業の社長や重役といった顔ぶれが並んでします。この最初の人選が前例となって、戦前の日本のロータリーは功成り名を遂げた財界人が入るクラブという錯覚を生みだし、更に、社会的地位とロータリアンの質とを混同する過ちを冒すこととなります。

米山梅吉の方針によってロータリーの奉仕哲学の探究に真摯な態度で取り組み、個人奉仕の原則もよく理解されていた反面、クラブ組織としての管理運営はあまり省みられなかった模様で。当初は例会も月一回であり、かつ、たびたび流会し、出席率も悪く、また規約に対する関心も薄かったと言われています。

## 関東大震災

1923年9月1日、午前11時58分、突如として起こった関東大震災によって、死者9万人、負傷者10万人、焼失68万戸、全壊1万1千戸という大災害となって、首都圏は壊滅的な被害を受けました。RIの対応は迅速で、震災直後の9月4日にはRI会長ガイ・ガンディカーから、の励ましの電報が届きます。

< RI 会長ガイ・ガンディカーよりの電文 >

RI および全ロータリークラブは深い同情の意を表す。如何なる事であろうと、遠慮なく申しつけられたし。

Deepest sympathy Rotary international and all Rotary clubs.  
Is there any particular thing we can do.

東京が壊滅的な状態であったため、大阪クラブが仲介の労をとり、福島幹事が次の電報を RI 本部に打電しています。

シカゴ本部御中

大阪ロータリークラブは、東京の三分の二と横浜のほとんど全域が崩壊した未曾有の災害に対して、日本国民に寄せられた暖かい同情に感謝すると共に、日本国全体がこの不幸に向かって立ち上がるために勇気と行動と決意をみなぎらせており、救援活動も徐々に進み、大阪ロータリークラブ会員も救援活動に然るべく役

割を果たしていることを、国際ロータリーを通じて、アメリカ及び他の国にお伝え願うことを希望します。

International Chicago

Osaka Rotary Club desires convey through Rotary International sincere gratitude Japanese people for warm sympathy America and other countries over unheard of disaster two thirds of Tokyo practically all Yokohama destroyed but whole country showing courage discipline determination to rise above misfortune relief work steadily progressing Osaka Rotarians doing their duties.

9月10日にはサンフランシスコ・クラブより1,000ドル、翌11日にはニューヨーク・クラブから1,000ドルの義捐金が到着し、16日にはRI本部より大阪クラブに次のような書状が届きました。

電報を拝受しました。RIが救援資金として25,000ドル寄贈することを東京のロータリアンにお伝えください。東京クラブがこの救援資金を受け取って、救援事業に使用するために、現地の銀行口座に振り込むのか、東京に送金するのか、それともどこかに送金するのか、もし東京クラブが受取ることが不可能なら、大阪クラブが代わりに受取ってもらえるのか、ご連絡ください。

Your cable received. You can advise Tokyo Rotarians that Rotary International offers them twenty five thousand dollars

for relief will they accept and use this money shall we deposit it their credit here or Tokyo or where if Tokyo Club cannot accept will Osaka Club.

この電報を受取った大阪クラブ幹事福島は、東京クラブの米山に次のような書状を出しています。

拝啓

大震災に御無事の由、誠に嬉ばしく存じます。ニューヨーク及びサンフランシスコのロータリークラブより、1000ドル宛送金して来たこと及びその処分方法に就いては、星野氏よりお聞き及びのことと存じます。今日は又、シカゴの本部より次の通り2万5千ドル寄付の申込がありました。その電文をお知らせします。(前掲電文)電文の意味は明瞭と存じます。私共は米国ロータリアン一同の深厚な同情に感極まって言葉が出ないのであります。どうか、会員其他に諮られ、なるべく速やかに、御返事を願います。此機会が縁となり御地のロータリークラブは勿論、日本に於けるすべてのロータリー・ムーブメントが大発展をする様希望して止みません。

同時に福島幹事はシカゴ本部にも次のような感謝の電報を送っています。

電報を拝受いたしました。多額の救援金を賜り心から感謝いた

します。星野会長は現在東京で相談中です。後刻当方の意向を電報で御知らせします。

Yours received. Heartily appreciate generous contribution. President Hoshino now in Tokyo consulting. Cable disposition later.

相談の結果、義捐金は東京クラブが受け取ることになり、その旨、シカゴ本部に連絡されました。その後世界中のロータリークラブから続々と義捐金が送られ、その合計は最終的に 74,000 ドルに達しました。クラブの内訳は、アメリカ 375、イギリス 60、カナダ 40、キューバ 6、メキシコ 4、オーストラリア 3、ニュージーランド、オランダ、フランス、パナマ各 2、ペルー、南アフリカ、フィリピン、ブラジル、ノルウェー、デンマーク各 1、合計 16 ケ国、503 クラブに及びました。

東京クラブは特別委員会を設けて、慎重にその用途を検討し、木下産院の建設、小学校の備品整備、ロータリー・ホーム建設、殉職警察官の遺族に対する援助活動を行っています。なお、義捐金の総額については、資料によって幾つかの異なった集計がでていますが、RI に提出された、1924 年 5 月 26 日の最終報告書は次の通りです。なお当時の為替相場は¥100=US\$49 です。

収入	RI より	74,216 円 30 銭
	他の RC、その他	14,944 円 82 銭
	合計	89,161 円 12 銭
支出	木下産院	10,000 円 00 銭

小学校	26,731 円 60 銭
孤児院建設	37,000 円 00 銭
殉職警察官遺族	15,429 円 52 銭
合計	89,161 円 12 銭



Rotary Home

孤児院は東京市の希望を取り入れて、東京クラブ会員清水釘吉の設計施工による 180 坪の鉄筋コンクリート二階建てで、一階には事務室、保母室、裁縫室、調理室、浴室、二階には居室 6 室、集会室を設け、さらにミシン 15 台を備えた、当時としては最新の施設で、Rotary Home と命名されました。1924 年 10 月 10 日に完成し、当日は、大勢の孤児や東京クラブ会員家族が参加して、開館式が催されました。

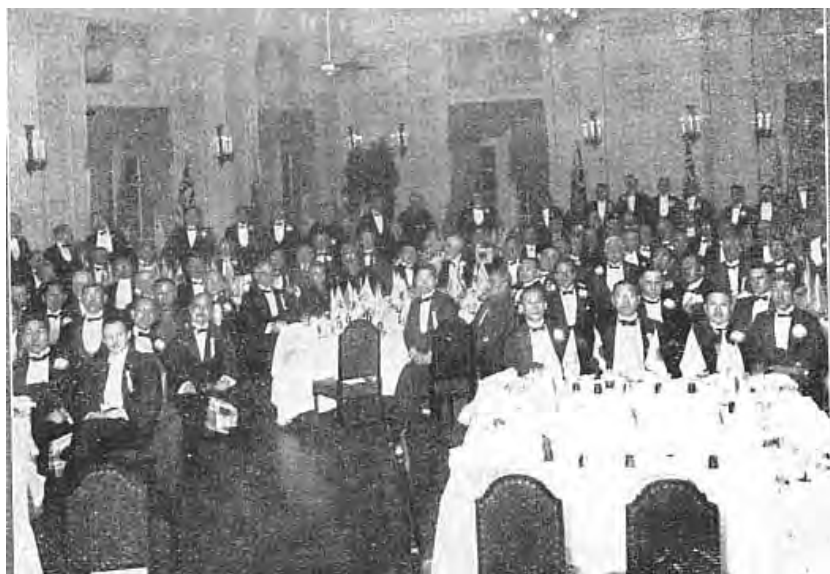
この建物は 10 年後に一部修復されましたが、RI 脱退後、東京市に管理が移されて、Rotary Home の名称も消え、その後戦災に



よって焼失しました。

なお、この震災によって全ての事務用品、書類、認証状、ロータリー旗を失った東京クラブに対して、シカゴ本部より一切の備品が送られてきました。

RI から送られてきた 25,000 ドルに関しては、国際理解と親善のための基金として貯めていたアーチクラフ基金（現在のロータリー財団基金の前身）を取り崩したものであるという説と、RI の災害基金から支出したという説がありますが、何れが正しいかは不詳です。東京クラブは、このロータリーの友情を契機にして、今までの月一回の例会を毎週開催するよう改めたとされています。



ロータリー創立 20 周年記念例会 1925 年

杉村広太郎の協力によって会報発行の準備が進んでいた矢先に大震災が起こって、一時中断していましたが、1925 年 5 月から、北島亘によって会報が発行されました。この会報は Tokyo Rotary Club Bulletin と名づけられた英文の会報で、外国のロータリアンから高い評価を受けています。

## ロータリーの拡大

福島喜三次の大阪転勤を機会に、関西財界人の間にロータリーに対する関心が高まり、英米訪問実業団の一員として渡米した星野行則がシカゴへ赴き、直接、R I 事務総長チェスレー・ペリーと会談して、大阪クラブ設立の意向を伝えました。

日本におけるロータリーの拡大に積極的だったチェスレーは、拡大に関する直接の指導を与えると共に、星野に大阪クラブ設立に関する全権を委嘱しました。帰国した星野は、福島と協力して拡大の作業を進め、1922年11月1日に、第1回創立準備会を大阪ホテルで開催します。その際集った人は10人でしたが、いろいろと奔走の結果、11月17日には、チャーターメンバー25名によって、大阪クラブの創立総会が行われます。初代会長は星野行則、副会長村田省蔵、幹事福島喜三次、会計八代則彦、理事平生釦三郎、片岡安、木村清です。

RI から、1923年2月10日付けで加盟承認され、登録番号は1349です。

### <大阪ロータリークラブ創立会員>

浅井 義周	江崎 政忠	藤沼 庄平	福島喜三次
長谷川畦五郎	平生釦三郎	星野 行則	伊藤忠平衡
片岡 安	片岡 直方	木村 清	木間瀬策三
北内内蔵司	清瀬 一郎	児玉 一造	小林 一三
前田 松苗	村田 省蔵	坂田 幹太	関 一

下村耕次郎 進藤嘉三郎 高原 操 高石真五郎  
八代 則彦



大阪クラブ家族親睦会

当初は、月2回の例会でしたが、1923年8月からは、毎週例会に改め、管理運営面の充実、出席規定の遵守、例会の時間励行、クラブ歌の制定、親睦会、定款翻訳などが積極的に実行されました。

当初日本は、R I による直轄クラブとして無地区 Non-District Territory でガバナーもなく、クラブ拡大に不便な状態だったので、RI は米山梅吉を Special Commissioner に任命して拡大に当たらせました。1924年には大阪クラブをスポンサーとして神戸クラブが、

東京クラブをスポンサーとして名古屋クラブが創立され、更に、1925年には京都、横浜と順次クラブが増えていきました。

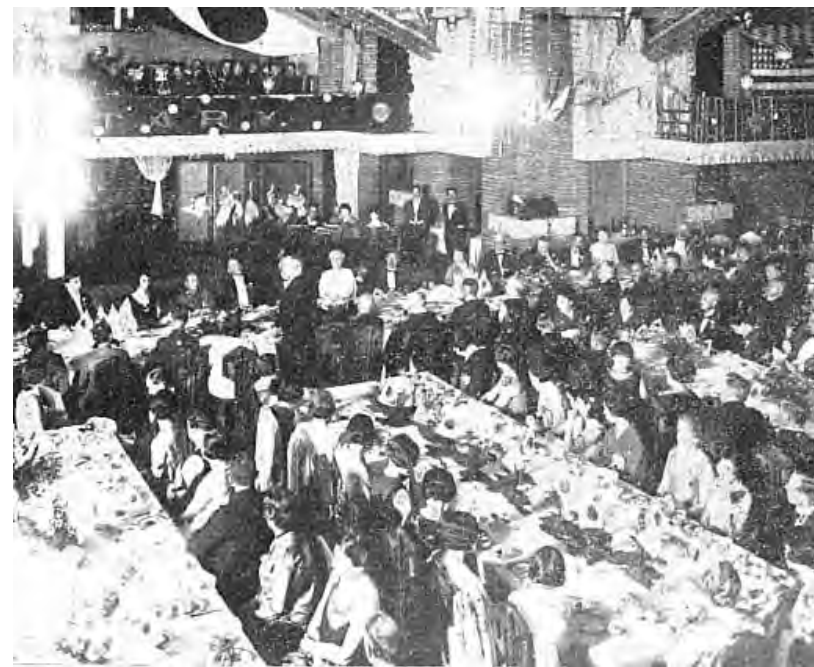
次いで、井坂孝が Special Commissioner に任命されて、ソウル・クラブが設立され、三代目の平生鈞三郎によって、大連、奉天クラブが設立されました。

日本に地区を設ける希望が高まったため、RI に地区設置を申請した結果、1928年7月、朝鮮、満州を合わせて第70地区として、RI より正式承認を受けることとなります。正式認定とはいうものの、当時7クラブしかなかった地域を地区として承認することにはかなりの無理があり、日本の強引な提案にアジア各地のクラブからの反発もあり、RI もしぶしぶ了解したというのが真相のようです。

## 第70区時代

1928年7月に第70区が設置され、米山梅吉が初代ガバナーに就任しました。

同年10月1日から4日間、東京において、第2回太平洋会議が開催され、外国からはサットン RI 会長夫妻を始めとして、109名のロータリアン夫妻、日本からは233名のロータリアンと226名のロータリアン家族が参加しました。アメリカ、ハワイには天洋丸が就航して横浜まで、オーストラリア、ニュージーランドには安芸丸が就航して、神戸までロータリアンを運びました。



なお、第3回の太平洋会議は、1930年にシドニーで開かれて日本からは11名が参加、第4回は1932年にホノルルで開かれて2名参加、1935年のマニラ大会には16名が参加しています。



左から井坂孝、米山梅吉、村田省蔵

米山梅吉は1929年の京都の地区大会でガバナーに再選され、1930年の神戸地区大会で3選されます。1931年横浜大会で井坂孝がガバナーに選ばれ、1932年の大阪大会で再選、1933年の東京大会で村田省蔵が選ばれ、1934年名古屋大会で再選されますが、

それ以降は毎年交代するようになりました。

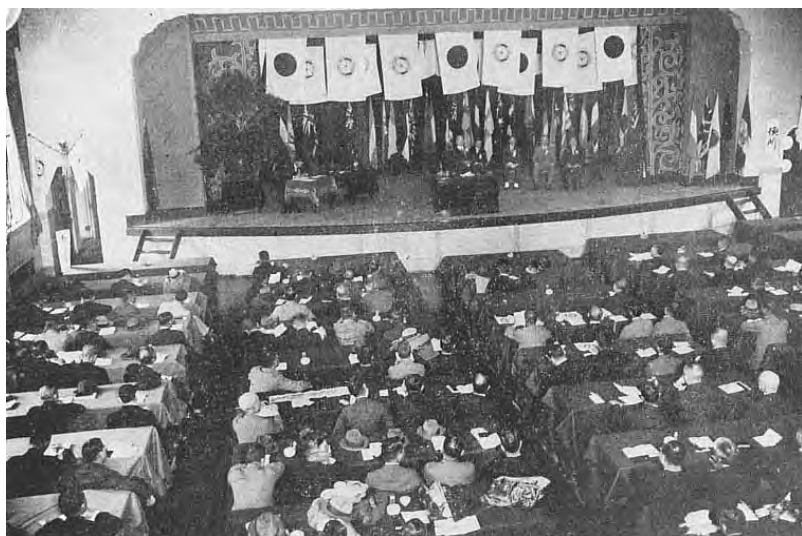
1930年にロータリー創立25周年を祝う国際大会がシカゴで開催されました。日本を代表して出席した貴族院議長徳川家達公爵(東京クラブ名誉会員)が儀仗黒騎隊による送迎をうけた上、大会のスピーカーとして「民族の勃興」と題する演説を流暢な英語で行って、大きな感銘を与えたと言う記録が残っています。

国際大会参加に関しては、当初、大会に代表者を送ることも、大会の意義も判らなかつたため、日本からの大会参加は1924年のトロント大会が初めてです。その後の大会には、RI脱退の1940年ハバナ大会まで、平均2-3名が参加しています。(最高記録は1937年ニース大会の12名)

全国レベルの最初の会合は、1926年に大阪で開かれた都市連合会 Inter-City-Meeting です。当初は、懇親会として準備を進めていましたが、折角集るのだから協議事項も入れようということになって、

- 今後、毎年開催するや否や
  - 日本ロータリー連盟設置について
  - 日本各地にロータリークラブを拡大すべきか
  - 定款・細則を邦訳する必要があるか
  - ロータリークラブの存在や活動を広報する必要があるか
- について、議論しました。午前中の会議に続いて午後は大阪見物、夜は大阪クラブの4階で懇親会を行い、家族を合わせて138名が参加しました。

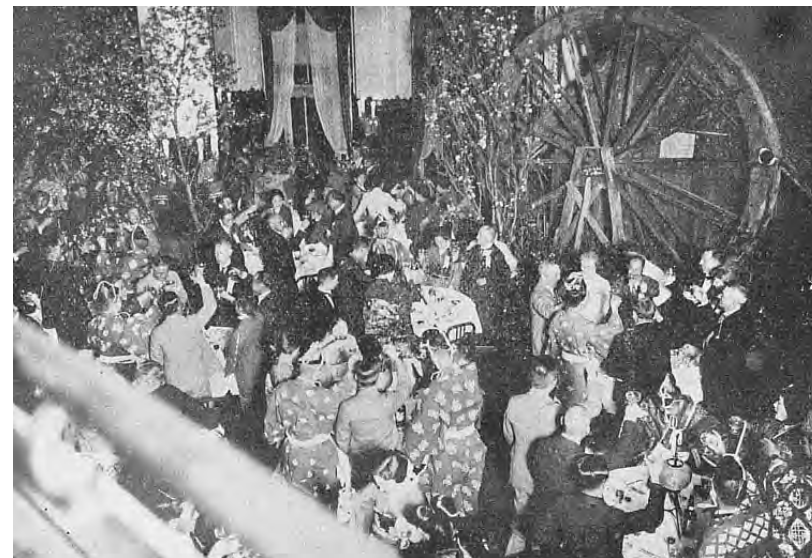
第2回の都市連合会は1927年東京で、第3回は1928年名古屋で、第4回は1929年に京都で開催される予定でしたが、この年に70区が設定されたため、これが第1回地区大会に変更されました。



華頂会館における本会議

初めての地区大会なので、全く様子が分からず、ホストの京都クラブはその準備が大変だった模様です。夜来の雨も上がって、1929年4月27日午前10時に京都華頂会館で開会。京都クラブ副会長シャイベリー夫人のピアノ伴奏による「Rotary」の合唱に続いて、米山ガバナー、京都市長の挨拶、各地ロータリークラブ代表の現状報告の後、協議に移りました。次期ガバナーに米山梅吉が再選され、次の大会開催地が神戸に決定しました。東京クラブ

から提案されていた He profits most who serves best を撤回する案は保留となり、その他7項目が決議されました。



京都ホテルの晩餐会

知恩院で精進料理の昼食をとり、島津製作所、歌舞練場を訪れ、夜は京都ホテルで晩餐会が行われました。その席上、米山夫人に薔薇の花を入れた銀の花瓶が贈られるはずが、薔薇の代わりに藁が届いて大騒ぎになったというエピソードが残っています。翌日は、エクスカーションとして京都御所と日活撮影所、嵐山を訪れています。

第2回地区大会は翌1930年5月に、RI会長代理としてフランク・マルホランド氏を迎えて、神戸で開催され、10クラブ、会員



第 70 地区第 2 回地区大会 於 神戸 1930 年

家族合わせて 437 名が出席しました。この席上で、奉天クラブから、日本語のロータリー・ソングを作ること、奨学金制度を作ること、ガバナー月信を発行することが提案されました。

地区大会はその後 1931 年横浜、1932 年大阪、1933 年東京、1934 年名古屋、1935 年京都、1936 年神戸、1937 年札幌、1938 年ソウル、1939 年別府と RI 離脱まで開催されています。

## ポール・ハリス訪日

1935 年、ポール・ハリス夫妻が、RI 会長ヒル夫妻と共に日本を訪れました。2 月下旬にマニラで開かれる第 5 回太平洋大会に参加する途中の訪日で、当初は 2 月 6 日に横浜に到着する予定でした。

1 月末に、プレジデント・クーリッジ号に乗船し、日本に向かって航行中である旨、電報による連絡がありましたが、悪天候のため順延して、2 月 9 日午前 5 時に横浜に到着しました。

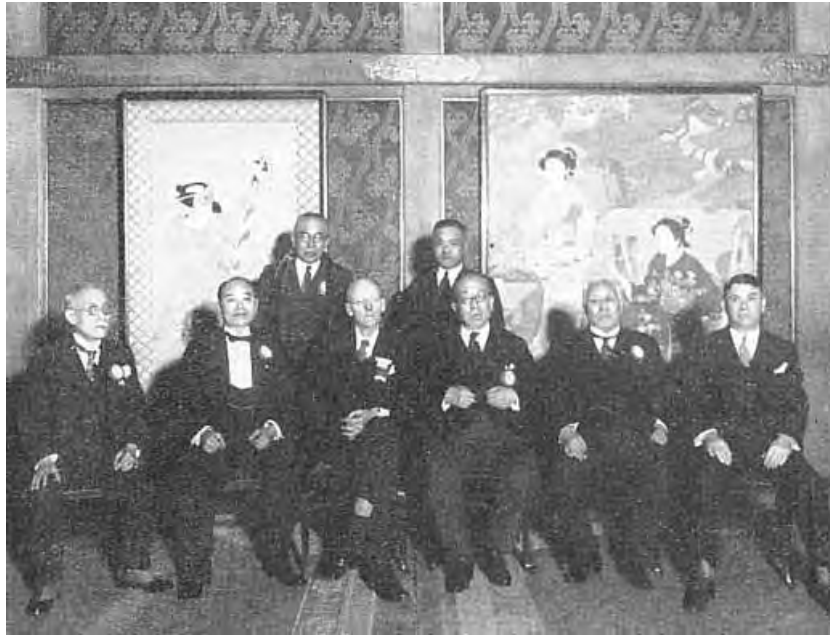
横浜市長、鹿島東京 RC 会長他多数の出迎えを受け、横浜のニューグランド・ホテルで小憩の後、10 時 30 分、東京駅に到着しました。到着予定が大幅に狂ったため、当初予定されていたスピー

ーチ等の全ての公式行事は中止となり、二重橋、明治神宮その他の市内観光の後、午後 2 時、帝国ホテルに到着しました。

小憩の後、ホテル前庭に月桂樹を植樹後、芝公園内の紅葉館で行われた歓迎会に参加しました。

帝国ホテル前庭で月桂樹の植樹





東京會館にて左より宮岡、米山、Paul Harris、徳川、斉藤、Bob Hill

なお、紅葉館での料理は次のように純日本式でした。

御作り身	鮪、平目、胡瓜、山葵
御吸い物	すっぽん、葱、生姜
御蓋物	牛肉煮込、玉葱、隠元豆
御焼肴	鯛、生姜
御間い肴	あい鴨、鰻、百合根
御鉢肴	車海老、青唐辛子
御留椀	若鶏、人参、筍、青豌豆
御飯	米飯、新香

御水菓子 苺



紅葉館にて昼食

歓迎会の後、三越百貨店、御木本真珠を訪問し、夕刻、帝国ホテルに戻って衣装換えの後、午後 6 時から、東京會館 4 階で行われた、東京 RC、横浜 RC 主催の歓迎晚餐会に出席しました。

当時の記録によると、この歓迎晚餐会の模様を次のように紹介しています。

食堂は桜咲く隅田川の春景色にしつらい、洋風の窓や戸は日本の提灯で隠し、三囲神社を模した建物まであり、別室では日本古流の茶室で抹茶の接待が行われ、一行は此の接待に充分満足気であ

った。晩餐会はロータリー・ソング(Rotary my Rotary)で始まり、食事中日本の三曲合奏および声楽家の独唱があり、一方舞台では見事な桜踊りがあった。ポール・ハリスはたって、君が代のオーケストラの演奏の中に天皇陛下のためにトーストを捧げた。又日本側からは東京 RC の名誉会員前首相齊藤実子爵が米国大統領の健康を祝し、その間米国国歌が演奏された。

デザート・コースに入って東京 RC 会長鹿島精一が、又横浜 RC の副会長ソマーラーがそれぞれ会を代表して挨拶し、ついで米山梅吉が歓迎の挨拶を述べた。これに続いて名誉会員徳川公も感想と挨拶を述べ、次にヒル RI 会長の謝辞があり、最後にポール・ハリスが感激にみちた挨拶をした。



歓迎晩餐会終了後、午後 9 時 30 分、東京駅発の列車に乗車し、翌朝 7 時 50 分、京都に到着。京都ホテルで朝食の後、車で京阪国道を通り、新大阪ホテルへ向かい、午後 1 時より開会された、京阪神 3RC 連合の歓迎会に参加しました。

この歓迎会には、京阪神の他、岡山、門司、名古屋、ハルピン等のロータリアン 130 名が参加しました。

ロータリー・ソングに始まり、来賓紹介、村田ガバナーの歓迎の辞の後、ヒル RI 会長、ポール・ハリスの答辞がありました。席上、ヒル会長には七宝香炉、ポールにはブロンズの胸像が贈られました。

晩、車で神戸に向かい、プレジデント・クーリッジ号でマニラに向けて出航しました。なお、この便には、太平洋大会に参加する多数の日本人ロータリアンが乗船しました。



## 日満ロータリー連合会

1935年、京都で第7回地区大会が開催され、新作の日本語のロータリー・ソングとして、「奉仕の理想」と「われらの生業」が発表されました。



第8回地区大会 於 神戸 1936年11月

1936年に神戸で行われた地区大会では、「紀元2600年に日本で国際大会を開催する」「シカゴの中央集権を緩和して地区文分権制度に改める」「アメリカのロータリーにおける東洋人差別是正」の

案件を審議する予定でしたが、たまたま神戸の直木太一郎が提出した「大連クラブのロータリー宣言を70地区のロータリー宣言として採択する」という動議を巡って大混乱になりました。米山梅吉は、国際ロータリーにおいて決定した「ロータリーの綱領」は一言一句の変更は許されないと述べたのに対して、京都クラブの会長田辺隆二は、それは英文のことであって、その精神を日本語で表すものがあってもよいと反論し、村田省蔵パスト・ガバナーは、この大連宣言を推奨したのは自分であり、これは立派なものであるから、これを英訳して、「ロータリーの綱領」を改正するように、RI本部に提案したらよいと述べました。結局、大阪の里見純吉の提案によって、この宣言は、ロータリーの綱領の変更ではなく、内容を補足するものとして、大会宣言することで収拾されました。

この「大連宣言」は、大連クラブの古沢丈作が、「ロータリーの綱領」と「ロータリー倫理訓」の真髓を、格調高い日本語で適格に表現し、1928年に発表した、最初のドキュメントとして、高い評価を受けています。

### <大連宣言>

須らく事業の人たるに先立ちて道義の人たるべし。蓋し事業の経営に全力を傾倒するは因って世を益せんがためなり。ゆえに吾人は道義を無視していわゆる事業の成功を獲んとする者に与せず。

成否を日うに先立ち退いて義務を尽さむことを思い進んで奉仕

を完うせんことを念う。自らを利するに先立ちて他を益せむことを願う。最も能く奉仕する者、最も多く満たさるべきことを吾人は疑わず。

あるいは特殊な関係をもって機会を壟断しあるいは世人の潔しとせざるに乘じ巨利を博す、これ吾人の最も忌むところなり、吾人の精神に反してその信条を紊るは利のため義を失うよりはなほだしきは無し。

義をもって集まり、信をもって結び、切磋し琢磨し、相扶け相益す。これ吾人団結の本旨なり。しかれども党をもって厚くすることなく他をもって拒むことなく私をもって党する者にあらざるなり。

徒爾なる角逐と鬭争とは世に行なわるべからず、協力をもって博愛平等の理想を実現せざるべからず、しかり吾が同志はこの大義を世界に敷かむがために活躍す吾がロータリーの崇高なる使命ここに在り、その存在の意義またここに存す。

表現が難しくて難解だといわれる方のために、敢えて口語訳をつければ、次のようになります。

職業人である以前に、道義を重んじる人でなければなりません。自らの事業経営に全力を傾注するのは、社会に貢献するためです。従って、ロータリーは、道義を無視して、事業を成功させようという人の味方ではありません。

事業の成功を考える前に、社会への義務を果たすことを考えて、奉仕に専念してください。自分の得を考える前に、他人に与える

ことを考えてください。最も能く奉仕する者、最も多く報われることを、ゆめゆめ疑ってはなりません。

特別な関係による機会を利用したり、一般の人が決して取らないような機会に乗じて、大儲けをすることは、最も好ましくない行為です。ロータリーの精神に反して、ロータリーの信条を踏み外すことは、儲けるために、道義を踏み外すのと同じことです。

1922年にヨーロッパで最大のロータリークラブ数を擁する、イギリスとアイルランドが RIBI Rotary International British & Ireland を結成したことから、世界各地で、RIの管理から離れて、地域分権を求める気運が高まってきました。日本も、これに倣って、日本、満州、朝鮮で RIJM Rotary International Japan & Manchuria を結成しようとする [ロータリーの日本化] が真剣に論議されるようになりました。

当時、韓国と台湾は日本の統治下にありましたから、問題はないとしても、満州が 70 地区に含まれていたことは、RI が満州を日本と一体のものと認識していたものと考えられます。これに対して、1932年にホノルルで開催された第4回太平洋地域大会で、中国のクラブからは是正するようという提案がありましたが、提案を取り上げる者は誰もいませんでした。(大会に出席した平生鈞三郎談)

1931年の満州事変を契機として日米間の雲行きは怪しくなり、1933年の国際連盟脱退によって、それは決定的なものになります。その経過の中で、ロータリーの本部がアメリカにあるという理由で、陰に陽に、軍部や官憲からの圧力を受けることになります。

ロータリーはアメリカのスパイであるとか、フリーメーソンであるといった批判に対して、ロータリーのモットーService above self は滅私奉公であると反論した記録が残っています。

そういった批判を避けるために、RIBI のように RI からの中央集権から離れて、国家単位で管理してはという意見がロータリアンの中で起こったため、1935 年に京都で開催された地区大会に RI 会長代理として出席したサットン元 RI 会長にその旨を申し入れましたが、色よい返事は貰えませんでした。

翌 1936 年に神戸で開催された地区大会では、「地区の特殊事情に応じ、ロータリー精神の普及徹底を期するため、RI の機構を地区単位に改めるよう希望する」という決議をしました。同様な提案が東京の地区協議会でもだされましたが、ここではこの機構改革はロータリーの国際的意義を弱めるという理由で否決されています。

1938 年比叡山で開かれた地区協議会において、東京から「RI の組織は中央集権に偏せず、その世界的拡大の趨勢に適應すべく、加入クラブの国情、風俗習慣を尊重し、地方的自治分権に進展するを以って、ロータリーの本義とし、もってその主義目的を全世界に普遍し、人類の福祉に資せざるべからず。故に第 70 区改正案を研究、作製し、来るべき国際大会に提出する準備を整うべく、研究委員会を組織されんことを提案する。」という提案がだされました。

この提案には米山梅吉も賛成して、自ら提案主旨の説明をし、異議なく採択されました。これに基づいて、クリーブランド国際大会に提出するために、宮脇富パスト・ガバナーを中心とする研

究委員会によって作られたのが、俗に「宮脇案」と呼ばれるものです。

#### (宮脇案) 日満ロータリーの機構

日満ロータリーの統括機関として、新たに評議員会を設け、その評議員会は左記地区内の会員より選出される 9 名の評議員(地方小区代表員と呼ぶ)及び日満ロータリー会長と、前期会長及び他の第 70 区の役員(副会長、幹事、会計)を以って組織し、日満ロータリー会長は評議会会長となる。(但し、幹事は議決権を有せず)

**評議員選挙区域** 上記 9 名の評議員は、左記地区内のクラブ会員より選出する。(1)北海道、樺太 (2)関東、東北 (3)中部 (4)関西、中国 (5)九州 (6)台湾 (7)朝鮮 (8)満州

**評議会の権限** この評議会の権限は、日満国際ロータリーの定款並びに細則の定める処により国際ロータリーの事務並びに、資金を統括、管掌する。「但し当該会計年度の日満ロータリーの予算収入を超過する負債を為すを得ず」とする。

**役員選挙方法** 日満ロータリーの役員は会長、副会長、幹事、会計及び 9 名の地方小区ロータリー代表員全部であって、会長は細則の規定により指名し、毎年の区大会に於いて、有権代議員の投票過半数を以って選定し、他の役員は細則の定める処により、指名の上選挙する。区大会に於いて選挙されし会長の姓名は、国際大会に於いて、RI の役員として選挙を受けるため、中央事務局に通告する。

**定期大会と臨時大会** 区大会は毎年4月15日より5月15日に至る期間内、予め評議会の決定したる日時と場所に於いて開催する。但し特別の事情発生の場合は、評議会は予定の日時と場所を変更することを得る。臨時大会 不測の事情発生の場合は、会長は評議会過半数の承認を経て、臨時大会を召集することを得る。

**区大会の組織** 区大会は各倶楽部より選出したる代議員を以って組織され、その選出代議員の割合は各倶楽部1名とし、なお毎年4月30日現在の会員数を基準として会員50名に対し1名の割合を以ってし、過半数の端数のあるときは更に1名を加ふることとする。

**代議員の出席** 各倶楽部は必ず適法に任命された代議員を区大会に出席せしめねばならぬこととし各代議員は大会に於いて各決議問題に対し一票の投票権を有するのである。

**無所属代議員** なお、催促の制定により区内に於ける日満ロータリーの各役代表者及び各元会長及びガバナー(但し現在何れかの倶楽部会員たるを要す)は無所属代議員として各大会に出席し提出の各決議問題に対して1票の投票権を有し得るものとす、と規定してある。

**日満ロータリー執務章定** 「区内各倶楽部の執務は評議会の一般的監督の下に置かれるものとし、評議会はRI理事会に対し義務を負うものとす」という規定により日満ロータリーの対内及び対外

執務関係が明らかにされてある。

**定款と催促の修正** 日満ロータリーの定款と細則に関する修正は、区大会の3分の2の同意により之を行うことが出来るものとして、その修正案は2月1日迄に区大会幹事宛に送達されねばならぬと規定されている。

**会費及び使途** 日満ロータリーの会員は毎半期金5円を会費として日満ロータリー本部に納付する。而してその使途及び管理は評議会の権限内に対し

1. 国際ロータリーに対しては毎半期双方の協議の上適当と思惟される金額を支払って種々なる斡旋に酬い。
2. 国際ロータリーより一切の支弁を受けることなく独立会計となる。

1939年に来日したRI副幹事のポーターは、東京、横浜で意見交換をして、宮脇案に一応の理解を示しましたが、その実現の難しさを説くと共に、急いで行動しないようにという忠告をしています。

ポーターの忠告に従って、東京クラブは、芝染太郎幹事を横浜、神戸、京都、大阪に派遣して、意見を集約し、次の結論をだしました。

1. 国家を基調にした機構は、1927年のオステンド大会で否決されているので、実現困難である。この決定を無効にしたとしても、日満を一つの国家単位とするには数年かかる。

2. 日満の現状を正当なものと認める者が増えているので、この希望は承認されると思うが、そのためには、現在の70地区を数区に分割して、これを合体したものを一つのロータリー地域として、自治管理する方が良い。この方法は既にイギリス、フランスで認められている。

この意見に従って、ガバナーや諸クラブ会長が東京に集まって協議した結果、この案を取りまとめて、1939年の別府の地区大会に提案することになりました。さらに、この別府大会の決議に基づいて、芝染太郎は特派代表として、同年開催されたクリーブランド大会に出席して、RIとの交渉に当たるわけです。

出発に先立って、米山梅吉はRI会長に宛てた次のような親書を、芝に託しています。

まず前会長ウイル・メーニャの「歴史と風俗と習慣とは各国悉く異なれり。故にこれを統一的に取り扱わんとするのは誤りにして、思想上の傾向に適合せしむべく各々自由ならしむべし。」の言を引用し、「東西欧亜では甚だ風俗習慣が違っているが、ロータリーの目的は明白であるから、これを忠実に実現出来れば、他の細項は各区の自治に任せばよいので、ロータリーの開祖ポール・ハリスさえ、ロータリーの到達すべき運命に適應せんとせば、ロータリーは常に徐々に進化し、又或る場合には急進的改革をも必要とすると言っている。大会参列の諸君はこのRI機構の進化変遷に必要に注目し、第70区が提案する機構改正に虚心坦懐検討されんことを希望する。余は急進的改革を希望するのではない。ただその進化を促進し、将来の宿望に適應させる必要を認めるものである。

隣邦第79区ガバナー、フォン・セク博士は最近死去したが、その数日前余の所論に共鳴し、一緒に支那のロータリー拡張と永久性のために共同してつくしたいと述べた。」と結んでいます。

この第70地区からの「RIJM設立」についての提案は議案39-9として6月19日の立法委員会に提出されましたが、その際、芝染太郎は米山梅吉から託された前述の書簡を読み上げ、その全文が大会議事録に発表されました。

なお、この提案は審議されることなく、芝によって撤回されました。芝は渡米後、この提案の取り扱いについて、チェスレー・ペリー事務総長やRI理事と何回も非公式会談を重ねましたが、賛否両論がでて結論は得られませんでした。特にアルゼンチン、ペルー、ブラジルはこの提案を機会に、南米における中間管理組織を作ることを考えていたため、RIはこの提案は日満だけの問題ではなく、RIの根本を揺るがす問題だと考えました。もしもこの提案が審議されれば、大会が紛糾することは必至であるとみたRI理事会は、この提案を責任を持って理事会が対処することを確約した上で、芝に撤回を要請し、芝もそれを受け入れたわけです。

以上のような経緯をたどって、この提案はRI理事会の付託となり、1939年7月から、日本の第70区が第70区、第71区、第72区に分割されて、日満地区46クラブが、自治地域制度の適用を受けることとなります。

#### 日満ロータリー連合会規約

第1条 日本及び満州所在左記三区ロータリー総括機関として日

満ロータリー連合会を組織す。

東部(第 70 区) 本州東部(福井、岐阜、三重を含む以東)、北海道、樺太

西部(第 71 区) 本州西部(滋賀、京都、奈良を含む以西)、四国、九州、台湾

鮮満(第 72 区) 朝鮮、満州

第 2 条 本会会務の執行は之を委員制度となし左記役員を以って構成す。

会長 1 名 委員 7 名

委員は区監督 3 名、前任監督 3 名、前任会長 1 名を以って之に充つ。各区に於いて区監督を選出したる時は直ちに之を本会に報告し、本会は之を国際ロータリーに通告して其の役員たる手続きを完了するものとする。

第 3 条 会長は本会を統括し委員会の議長となる。

第 4 条 会長は連合会に属する区内ロータリー会員中より委員会之を選出する。其の任期は 1 年とする。但し再選を妨げず。会長選出の時期は、連合大会開催の場合には其の会期中然らざる場合には郵便投票に依るものとする。

第 5 条 本会に幹事及び会計を置く。会計は名誉職とする。

第 6 条 本会は左記事項を処理する。

1. 連合会内各区の連絡
2. 連合会内各区と国際ロータリー事務局との連絡
3. 連合会内各区共通会計の統制管理
4. 新設倶楽部承認及び登録手続

第 7 条 本会内各倶楽部は本会に対し其の会員数に応じ会員 1 人

宛年額 17 円を支払うものとする

第 8 条 新倶楽部は入会金 200 円を本会に支払うものとする。

第 9 条 委員会は必要に応じ日時及び場所を定め会長之を召集する。2 名又は 2 名以上の委員より委員会開催の請求ありたる時亦同じ。委員会の定数は委員 4 名以上とする。

第 10 条 本会は年 1 回連合大会を開催する。区大会は之に合流することを得。

第 11 条 本会は年 1 回連合協議会を招集する。

付則

第 1 条 本規約は昭和 14 年 7 月 1 日より有効とする。

第 2 条 本規約実行初年度に限り本会委員の構成並びに会計に関し特別を設けることを得。

第 3 条 本会は毎月 1 回連合会会報を発行する。之に要する費用は各倶楽部に於いて別に分担するものとする。

これを受けて、RI 理事会が認めた規約は次の通りです。

1. 3 地区の統括機関として日満連合会を設け、会長 1 名、ガバナー 3 名、パスト・ガバナー 3 名、前会長 1 名、合計 8 名の委員をおく。
2. 会長は RI の承認を要せず、委員の任期は 1 年とする。
3. 会長の選挙は 3 地区連合大会でおこなう。
4. ガバナーの選挙は地区大会で行い、RI に通告し、従来と同じく国際大会で選任する。
5. ガバナーの任務は従来と同じとする。

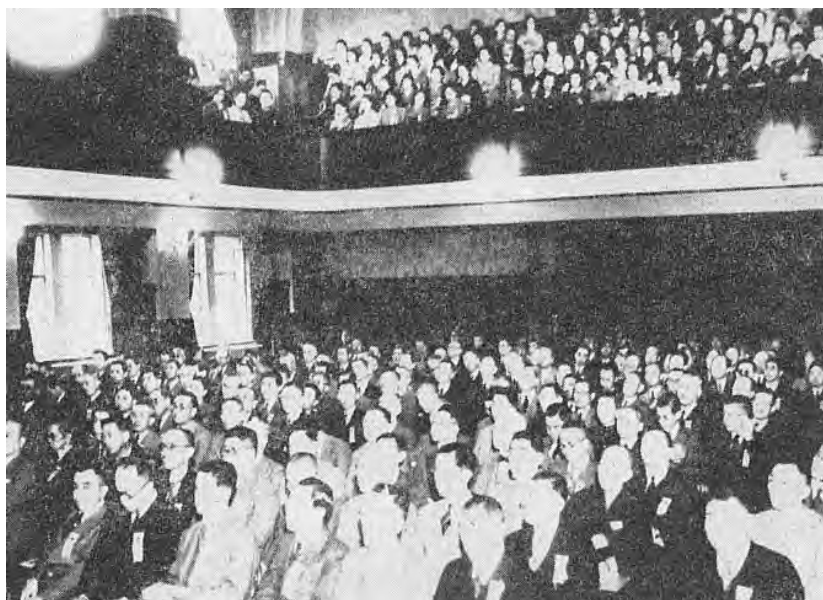
6. RIへ送金する4ドル50セントは、半額を連合会に残して、その費用に充てる。
7. 1939年7月から実施する。

このようにして、日本は3地区に分割されました。

第70地区・・・名古屋以東の20クラブ

第71地区・・・西日本、台湾の19クラブ

第72地区・・・朝鮮、満州の8クラブ



日満ロータリー連合大会 於 横浜 1940年5月

第1回に日満ロータリー連合大会は、1940年5月、横浜で開催され、会長には米山梅吉が選ばれましたが、これが戦前の日本口

ロータリーの最後の大会となりました。この大会では、ロータリー綱領の邦訳を改めること、国名をニッポンに統一すること。皇軍への感謝、傷病兵慰問などが決議されました。

## RI 脱退

この時期から、ロータリアンの涙ぐましい努力にもかかわらず、ロータリーに対する批判は収まるどころか、ますます激しさを増していきます。クラブ旗の隣に国旗をかかげ、月初めに国歌を歌うという、現在では極く普通の例会風景も、実は国家への忠誠心を示すために考えられた、この当時の歴史的な名残だといわれています。

ドイツでは 42 クラブ、オーストリアの 11 クラブ、イタリアの 34 クラブが解散し、日本でも解散を真剣に考えるクラブが増えてくる一方で、弾圧による解散に先立って、国際ロータリーから自発的に離脱し、別組織として、その精神性を維持する方法を選ぶべきだという意見がでてきて、クラブ間の調整が取れない状態になってきました。

日満ロータリー連合会は緊急会議を招集して、クラブ存続の決議をして、次の電文を全クラブに発送しました。

本日の委員会に於いては此の俛存続するに決す。ロータリーの精神には疑問の余地なきと信ずるも、尚ほその筋の意向を確かめんとす。機構の改正を要すべきものあらば慎重検討改善を要す。

連合会の努力にもかかわらず、8月8日に静岡 RC が、引き続いて、8月12日に大阪 RC、8月19日には岡山 RC が解散します。



当時の新聞記事(ロータリー日本 50 年史より転載)



そこで、1940年8月20日、日満ロータリー連合会は、各クラブに対して、次の通達を出しました。

1. 日満に於ける各クラブを国家単位に改組する。
2. 之を直ちに RI 理事会に提出し、同時に全世界の RC に通告する。
3. この提案が実現するまで、日満ロータリーは RI との関係を一時停止する。
4. RI がこの提案を受け入れない場合は、RI から脱退する

その後、8月21日には京都 RC、その後も広島、高知、金沢と解散が続いたため、9月4日、日満ロータリー連合会は総会を開催して、RI から脱退して、独自の日満連合会を組織することを決定し、その創立委員 25 名を指名しました。

東京 RC が解散を決定したのは、9月11日のことであり、米山梅吉は、重い足を引きずるようにしながら壇上に立って、次のような、最後の挨拶をしました。

拝啓 時下各位益御清祥慶賀此事に奉存候

陳者各位と共に終始其発展に努力致し來り候ロータリー運動も一旦廃止の己むを得ざる事態に立到り候こと誠に今昔の感に堪へざる次第に候

多年間断なき無数の會合に於て舊ロータリー俱樂部が重きを會員各自の職能に措き往來親睦に手を握りて互に相勵まし陰に陽に奉仕の一念を以て事に従へる為過去二十年ロータリーが清新にし

て而かも活潑なる社交機關として世の信認を博せること偶然にあらずと存候

其発展に於ても日満四十八市を網羅し軀ては百俱樂部の陣容を整へ恰も東亞勃興の新機運に参して大いに國際正義の達成に資するを得んことを庶幾し昨年既にクリーブランドに於けるロータリー世界大會に向ひ吾が主張を聲明しロータリーの組織を改め國家単位の機構に礎石を置かんとし益多望なる前途を豫期せる際不幸なる影響を受け意外の蹉跎を見るに至れること此上なき恨事と申ぐべく御同様残念に堪へざることに候

何れにもせよ國際ロータリー離脱のことは豫て其組織關係に更改を企圖致居候ことにも有之旁日満ロータリー俱樂部解散の決行は乍遺憾誠に己むを得ざりし次第に候

抑も奉仕の理想に基き各自の職能により國家社會に貢献し公益の増進に力め外は以て國際の諒解を正しくせんが為めに實業及び専門職業人たるロ-タリアンが努力多年に亘り會員間に醸成したる特殊の熱情は一度ロータリアンたりしものの永く保持して用を為さんとする處にして是即ちロータリーの後身として新社交俱樂部を創設し從來の意義ある友交關係を継続致し度き希望に燃ゆる所以に候

先般臨機に委員を擧げ協議の結果假定致候規約案は曩に御手許へ差上置候通りに候右御準用の上今や適宜御発會被成候て然るべき時節と相成候やう存候

大阪に於ては既に規約を設け金曜會を創立各地にも夫々類似の御催あり且又一二直ちに俱樂部の組織に出てんとする處も有之ことに承知致候

斯くて所在に新組織成立致候上臆て一定の名稱及び相互の連繫等に付き工夫を要する時機不遠到來可致存候へ共從來の日満ロータリー聯合會は既に全く解體、月刊機關誌も廃止のことに致し目下残務の整理に従事罷在候自然の成行は御承知被下候通りに候

凡そ忠良なる日本國民として臣道實踐の方途は多々可有之支那事變以來舊ロータリーの對外活動に於ても之を見たることに候へ共今や純日本主義に創設さるべき吾等の新組織は更に大に其主義精神を發揚して國家社會に貢獻し殊に現下の非常時局に即応する為め各自の職場に於て大政の翼賛に寄興致すべきこと必然と存上候以上貴意を得るに當りロータリー過去の歴史を回顧し感慨無量文辭悉きず偏に各位の御自重を所り候

昭和十五年十一月十六日

敬具

米山 梅吉

9月11日、日満聯合會は最初の會合を開いて、既に大阪で作られていた定款を基に協議して新定款を起草し、9月25日の會合でこれを採択し、この會の名稱を「七曜俱樂部聯合會」としましたが、この會がどのように運営されたかの資料は残っていません。

各クラブのRI脱退状況および再組織の状況は次の通りです。

クラブ名	脱退年月日	再組織名
静岡	15・8・8	木曜会
大阪	15・8・12	金曜会

岡山	1940・8・19	水曜会
京都	1940・8・21	水曜会
広島	1940・8	火曜会
高知	1940・8	火曜会
金沢	1940・9・1	水曜会
今治	1940・9・5	木曜会
神戸	1940・9・15	木曜会
盛岡	1940・9	木曜会
名古屋	1940・9	同心会 火曜会
函館	1940・9・4	函館職能協議会
帯広	1940・9・5	木曜会
小樽	1940・9・7	火曜会
新潟	1940・9・7	火曜会
東京	1940・9・11	水曜会
旭川	1940・9・23	金曜会
四日市	1940・9	木曜会
郡山	1940・9	金曜会
仙台	1940・9	火曜会
横浜	1940・9	同人会
札幌	1940・11・20	札幌職能会
西宮	1940・12・16	火曜会
福岡	1941・7・1	清和会
釧路	1941・10・10	釧路職域懇談会

東京水曜会は1940年11月15日に190名が入会して、12月4日に帝国ホテルで創立総会を開き、大阪金曜会は99名が入会して11月15日に創立総会を開きました。その他の各クラブもロータリー・クラブの名前こそ外したものの、各曜会と名を変えて、従来のロータリー・クラブ時代と同じように、毎週一回の例会を開いていました。

戦争が始まって、物資の欠乏と共に、弁当持参や、誕生祝いのケーキの代わりに水飴を贈った(東京クラブ)というエピソードが残っています。その後例会場の軍接收、空襲による破壊などによって、集まる場所を転々と変えたり、例会が休会となることもたびたびありました。

物資統制のため、週報の発行が困難となり、年に数回しか発行されなかったという記録も残っていますし、大阪金曜会では、月初めの例会では宣戦の詔勅が朗読され、卓話も統制経済、戦債、兵器、食料問題、大政翼賛会の話が多かったそうです。

ロータリーの組織が壊滅したにもかかわらず、その活動が継続されたことは驚異に値する事実です。戦前の日本のロータリアンの心にロータリーの理念が完全に理解されていたが故、組織がなくなっても、運動自体は何ら変ることなく継続されていたのでしよう。

終戦直後の1946年、日本ロータリーの創始者である米山梅吉と福島喜三次が相次いでこの世を去り、翌1947年1月にはポール・ハリスも78才の天寿を全うします。

## RI 復帰

1946年1月、東京水曜クラブの小松隆会長が、GHQのバラード大佐に託したRI復帰に関する要望書が、ラブジョイ事務総長を経てRI理事会に提出されましたが、5月24日に、「日本の希望は充分理解するが、現在の時点では確答はできない。RIの記録として残しておく。」という返事をもらいました。1947年1月に、大阪金曜クラブ飯島会長も、同様な要望書を元会員Mayを通じてRI本部に送りました。

1947年3月18日に東京の工業クラブでRI復帰連絡協議機関設置のための懇談会が開かれ、7月16日に第1回復帰協議会が開かれて、日本全国から14クラブ、32名の有志と、駐留軍のMossが東京工業倶楽部に集まって協議をしました。

1947年7月の記録によると、当時各曜会と名称を変えて例会を続けているクラブは18であり、その会員数は1,050となっています。ロータリーの名称こそ使えなかったものの、各曜会の例会には、駐留軍として在日していた連合国のロータリアンが再三訪れ、盛会であったと言われています。

1948年7月14日に、第2回復帰協議会が開催され、16クラブから40名が参加しています。

1948年9月1日、インドに駐在していたRI中央アジアの副事務総長ジョージ・ミーンズが、日本を訪れ、東京水曜会の例会に出席して、小松復帰協議会会長から、日本の実情を聞くと共に、

大阪金曜会やその他の七曜会を訪れて、日本のロータリークラブが名前こそ変えながらも、脱退以前と変わることなく例会を続けている状況を RI に報告します。

1949年3月9日に再び日本を訪れたミーンズは、RI 理事会が同年6月の国際大会までに日本のロータリーを復帰させることを決定したことを知らせます。この吉報を受けた協議会は、このことを各クラブに知らせると共に、その準備にかかり、東京水曜会は3月16日に解散して、3月23日にチャーター・メンバー157名で創立総会を開催し、3月29日にはRIから以前の登録番号855のままで認証を受けました。これに続いて京都、大阪、名古屋、神戸、福岡、札幌の7クラブが順次RIに復帰し、第60地区として戦後の日本のロータリー運動が再開されることとなります。

東京クラブのチャーター・ナイトは同年4月27日に開催され、マッカーサー元帥(後に東京クラブ名誉会員)や吉田茂首相からの祝辞が披露されました。

RI 復帰状況は次の通りです。

クラブ名	会員数	復帰承認	クラブ名	会員数	復帰承認
東京	189	49. 3.29	京都	57	49. 3.29
大阪	68	49. 4.13	神戸	46	49. 4.13
名古屋	47	49. 4.13	福岡	33	49. 4.22
札幌	45	49. 5. 2	横浜	38	49. 7.27
西宮	20	49. 8.19	高知	24	49. 8.19
今治	20	49. 8.19	徳島	30	49. 8.23

広島	27	49. 8.25	岡山	24	49. 8.25
小樽	25	49. 9.16	函館	25	49. 9.16
熊本	27	49.10.24	新潟	24	49.11. 8
四日市	20	49.11.21	岐阜	20	49.12. 8
門司	29	50. 1.12	仙台	33	50. 1.30
浜松	20	50. 2. 6	高松	40	50. 3. 9
金沢	32	50. 3.20	旭川	36	50.3.29
静岡	28	50. 4.20	長崎	30	50. 6. 9
盛岡	21	50. 7.25	釧路	25	50.10. 2
郡山	28	50.10.30	松山	30	50.12. 3
室蘭	31	50.12.15	帯広	19	50.12.28
和歌山	35	50.12.28			

公職追放者を会員として認めるか否かが、大きな問題点でしたが、経済界における公職追放者を会員として認めないならば、クラブとしての体をなさないと言う日本側の主張が受け入れられたため、日本のロータリーは戦前からの指導者を失うことなく再出発することができたのです。ただし、日満ロータリー連合会の設立に大きな活躍をした芝染太郎の名前は、東京クラブの会員名簿にはありません。

RI 脱退中もロータリー例会そのままの非公式例会を続けていたことが大きな評価を受け、クラブ歴、個人歴共に、この期間を含めることが認められることになりましたが、RI 復帰に際して、戦前の日本のロータリーの強引な手法を牽制する意味から、次の

条件が付けられました。

- (1) 離脱中の七曜会の解散
- (2) R I の定款・細則の厳守
- (3) R I への義務の完全履行

更に、「各クラブはそれぞれR I に直結しているので、クラブが地区や国単位で固まって行動を起こさない」ことを誓約して、戦後の日本のロータリーは歩み始めます。

## 参考文献

ロータリー日本 50 年史	日本ロータリー史編集委員会
国際ロータリー日本 50 年史稿(上)	直木太一郎
国際ロータリー日本 50 年史稿(下)	直木太一郎
われらのつどい	直木太一郎
日本ロータリー史	著者不詳
日本ロータリー年表	著者不詳
福島喜三次伝	有田ロータリークラブ
The History of the RC of Tokyo	東京ロータリークラブ
コンフェレンスまで	米山梅吉
コンフェレンスのあと	米山梅吉
ガバナー月信	井坂 孝

なお、写真は上記文献の中から転載したものが含まれていることをお断りします。